

王子総合高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書：（「高等学校 精選 現代の国語」（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】習得した知識や技能を社会や他の技能と結びつける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や意図に応じて情報を集め、正確に相手に伝えたり理解を得られるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】相手の立場に立ち、課題を理解し、主体的に対話的な活動を通して解決策を考える。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			証・ 聞	書	読					
1 学 期	単元 「生きもの」として生きる （中村桂子） 【知識及び技能】 ・教材文を参考に、意見を主張するための説得力のある文章の書き方に沿って意見文の形態や展開について正しく理解して読み書きしている。 ・教材文を参考に、意見を主張するための説得力のある文章の書き方に沿って意見文を書いている。 【思考力、判断力、表現力等】 根拠や理由に着眼しながら生命や科学技術に対する筆者の論理の展開を読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 論理の展開に注意して読み、自分の表現に役立てようとしている。	指導事項 ・本文の展開を5つの構成要素で捉え、それぞれの要旨を把握する。 ・具体例と説明の関係性を読み取る。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と根拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ・教材（「生き物」として生きる） ・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深めようとしている。 ・文章に含まれるという情報を相互に関係づけながら、内容を解釈しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、また文章の構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとする。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとする。	指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。 教材…水の東西 一人1台端末の活用 等		○	○	【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	9
	ものとはことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、また文章の構造や特色などを理解する。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解する。	指導事項 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解し文中の対比表現を理解する。				【知識及び技能】 ・主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 ・主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。				

	言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈しようとする。	る。 - 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 - 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・教材（「生き物」として生きる） ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ	○	○	○	9	
	定期考査					○	○		1	
2 学 期	文化としての科学（池内了）	指導事項 - 常用漢字を文や文章の中で活用する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の効果的な接続の仕方を理解し文中の対比表現を理解する。 - 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 - 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・教材（文化としての科学） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 - 主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 - 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【知識及び技能】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ - 本文理解、発表、意見交換など主体的に取り組んでいる	○	○	○	12
	不均等な時間（内山節）	指導事項 - 常用漢字を文や文章の中で活用する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 文章の効果的な接続の仕方を理解し文中の対比表現を理解する。 - 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 - 調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 ・教材（不均等な時間） ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 - 主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 - 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【知識及び技能】 - 自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 - 自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ - 本文理解、発表、意見交換など主体的に取り組んでいる	○	○	○	10	
	論理分析【推論】 AIは哲学できるか（森岡正博）	指導事項 - 文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 - 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 - 事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 - 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・教材 AIは哲学できるか（森岡正博） ・一人1台端末の活用 等	○	○	【知識及び技能】 - 主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 - 個別の情報と一般化された情報、推論の仕方など、情報の扱い方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「活動の手引き二」の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 - 推論によって結論を導く論の展開を把握し、AIは哲学できるかについての筆者の考えを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 - 帰納法で推論する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 - 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。	○	○	○	9	

[illegible]